

東洋の思想と宗教

第三十二號

歴史のなかの伯夷叔齊	吉川忠夫	(1)
阮籍の『莊子』理解と表現	渡邊義浩	(24)
毛宗岡本『三國志演義』における女性の忠	仙石知子	(43)
會澤正志齋の『論語』理解と實踐	大場一央	(68)
太眞齋法とその擔い手たち	廣瀬直記	(87)
——六朝上清儀禮の基礎的研究		
珍海撰『決定往生集』に見られる凡夫性の自覺	成瀬隆順	(114)
義教と日蓮宗・法華宗學僧との論争	庵谷行遠	(133)
——修行論を中心に——		
見所斷の隨眠における貪・瞋・慢・無明の史的背景について	藤本庸裕	(025)
大衆部における自己認識論の形成過程の考察	飛田康裕	(001)
——說一切有部の批判から推測されるその形成過程のモデル——		
<hr/>		
〔最終講義〕		
佛教認識論的思惟方法との出會い	岩田孝	(039)
——正しい認識 (samyagjñāna) の妥當性に關するダルモーッタラの解釋——		
岩田孝先生 略歷		(064)
岩田孝先生 業績		(067)
彙報 (平成二十六年度)		(153)

2015年3月（平成27年）

早稻田大學東洋哲學會